

いたやなぎ 町議会だより

平成27年
3月定例会

第5号
2015. 5. 8

主な内容

- 3人が一般質問 P2～3
- 予算特別委員会 P4～5
- おらほの議員 P9

表紙：春うらら
(高架配水塔から撮影)

町民の声を町政に

第13回定例会一般質問

第13回板柳町議会定例会が、3月2日から11日までの日程で開催され、5日に行われた「一般質問」に、3名の議員が登壇しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。



長内 良蔵

「日本一のりんごの里づくり」
館岡町長の
将来の夢

問 館岡町政4期16年一のりんごの里にする壮大な夢に向かって、まちづくりを進めた。取り組みには、ふるさとセンターをはじめとする町活性化事業を多数実施したこと、全国でも珍しい「りんごまてるかじり条例」を制定したこと、町中心にある廃堰の水環境を整理して「アップルモール」を完成させたこと、町の宝である子供たちの安全安心のために体育館耐震化に対しては即断で建て替えたこと、行財政改革を強力に進めたことなど、各分野にわたり事業展開された。以前、館岡町長は、私の一般質問に「日本

一のりんごの里づくり」の達成度は道なかばであると答えた。このたび惜しまれて勇退されるが、町づくりへの将来の夢は。

答

(館岡町長)

町民の皆様と協働で、まちづくりを進めてきた。りんごにこだわった地場産品の開発育成や販売促進、板柳りんごブランド化の推進、農業後継者対策、りんごまるかじり条例制定、アップルモール整備、りんご灯まつり、りんごまるかじりウォーク、クラフト小径、読書の町宣言など多岐にわたった。このことで、りんごの里というイメージが浸透し、全国的にも認知されてきている。将来においても、さらに「日本一のりんごの里づくり」を進展させ、日本のどこにもないような個性と風格のある、そして後世に誇れる、りんごのふるさとを子供たちに残していくことが、私の夢である。

板柳町発展のための考え

問

「地方創生」地元の人が一番知っている。将来の板柳町をどのように発展させていくのか、館岡町長の持論は。

答

(館岡町長)

各自自治体が知恵を出して戦略プランをつくり、みずから責任を持って進める時代に入った。町職員はもちらんのこと、農業後継者、商工業後継者など、一緒になって勉強を重ねながら、板柳町をどのように発展させていくのか、みんなが考え進めていくことが大変重要である。

商工会イベントにさらなる支援

問

春の「いたやなぎ桜まつり」近年は夏と冬、年2度開催の「はしご酒フリー」は多くの方々にぎわい、消費低迷による地元経済の衰退を解決しうる画期的なイベントである。さらなるにぎ

わい創出で町活性化へつなげるために今までの以上の町支援を。

答

(館岡町長)

民間が主体となって考え、実施するイベントが増えることは、今後のまちづくりには非常に重要である。地方創生の観点からも、イベントは町活性化する手段として期待できる。大いに支援すべきと考える。



三戸 玲子

りんご剪定枝の活用

問

農家女性として春一番の作業であるりんご剪定枝の片付けは重労働である。地方創生の一つの取り組みとして、官・学連携の事業を創出し、さらに若い人たちの雇用の場の確保にもつなげて、りんご剪定枝の活用を考えては。

答

(館岡町長)

環境面を考えると剪定枝の焼却処分は環境悪化につながる。再生エネルギーや堆肥など活用方法がいろいろあると考える。方法によっては雇用の創出を見い出せるので、官・学連携して研究したい問題である。

結婚支援の町事業

問

未婚・晩婚化の要因の一つと考える。当町でも結婚適齢期を過ぎた独身者は多く、結婚問題について、町が積極的にかかわる必要があると思う。町独自で長期的に結婚を支援する事業を。

答

(館岡町長)

当町では「まぢ婚」や各団体などによる婚活事業が実施されている。今後、町独自でできることを前向きに検討したい。



空き家対策

特別措置法

問 空き家などの対策の推進に関する特別措置法、平成27年2月26日施行分の概要は。

答 (館岡町長) 主な概要は、空き家などの所有者など及び市町村の責務、国による空き家などに関する基本指針の策定、市町村で定めることができる空き家など対策計画、市町村の課税情報などが利用可能なことなどである。

空き家対策の今後の進め方

問 法律的なことが進んできているので、それにあわせて町でも町民の方々に知らせして対策を取りながら進めてほしい。またその進め方は。

答 (館岡町長) この法律の内容を町民の方々に知らせして、今後は空き家対策と地方創生事業を関連させながらしっかりと進めたい。

館岡町政16年間の総括

問 平成11年4月に板柳町長に就任し、平成25年6月から青森県町村会会長の職務もされている。16年間で印象に残ったことは。

答 (館岡町長) 振り返ると、たくさんの思い出が浮かんでくる。最も鮮明に思い起こされるのは、平成14年に発生した無登録農薬の使用問題である。町長として対応を間違えば、りんごの町としての信用が完全に失墜して立ち直れなくなる強い危機感を持った。農家の皆さんは大変つらい思いをしながら協力され、町職員は不眠不休の対応、そして「りんごまるかじり条例」の制定が食の安全意識への高まりとなり、板柳りんごブランド化にもつながった。「日本一のりんごの里づくり」を進める上での象徴的な出来事であった。

板柳町の選挙投票率



問 平成26年12月14日に第47回衆議院議員総選挙が行われ、青森県の投票率は全国最下位となり、板柳町でも45・96%と非常に低い投票率になった。この4月には春の統一地方選挙として、青森県議会議員選挙や板柳町長選挙及び板柳町議会議員補欠選挙、6月には青森県知事選挙が行われる。そこで、当町の投票率低迷の要因と、今後の改善策は。

答 (葛西選挙管理委員長) 若い世代の政治離れが進行しており、これが選挙離れにつながっていると思う。町選挙管理委員会では、選挙のつど各世帯へ啓発チラシを配布、期日前投票や当日投票を町無線

放送で呼びかけをしている。また、板柳町明るい選挙推進協議会では選挙啓発物品の配布や選挙広報車で投票などの呼びかけをしている。今後も捨てない一票、投票率向上のため万全を期したい。

板柳町独自の取り組み

問 若い世代の選挙への無関心を改善するために町選挙管理委員会と行政、そして議会が協力し投票率向上にむけて、独自の取り組みの検討を。

答 (葛西選挙管理委員長) 今後、町内小中学校での模擬投票や選挙に関する出前講座、そして町独自の取り組みなどを検討したい。



土曜授業実施の総評等

問 青森県内に先駆け土曜授業の実施からこの4月で1年を迎える。平成27年度も実施することが町教育委員会で決定された。これは、保護者アンケートなどの結果を踏まえてのことだと思いが、現段階での土曜授業の利点、課題、総評は。

答 (中谷教育長) 町教育委員会で、土曜授業の利点を次のようにとらえている。各学校ではより多くの時間が確保でき、様々な取り組みが出来るようになる。土・日曜日が学校の休みになったものの、特にやりたいこともなく過ぎしている児童・生徒が学校へ行くことにより、集団の中で活動ができ有意義に過ごすことができる。課題は、平成26年度実施は板柳町のみであるため、板柳町に勤務する教職員が板柳町だけという思いを抱き、モチベーションが上がらなかつたという指摘がある。

また中学校などでは、対外的な試合が土曜日に来ることが多く、その日程調整に苦労している。1年間の総評は、保護者や家庭の協力、教職員の理解、そして地域の支援、それぞれの学校が成果をおさめて終了したことは何よりだった。

課題解決の見通し

問 教職員の勤務支援、課外活動や部活動に対する日程調整の見通しは。

答 (中谷教育長) 今後改善のため、勤務支援として、青森県の事業の特別免許、非常勤講師制度を活用したい。また日程調整は、各学校では土曜授業の実施日などを相手方に伝え調整していると聞いている。



予算特別委員会 総括質疑

3月
定例会

平成27年度の各会計予算を審議するため、議員全員で構成する予算特別委員会（委員長・葛西清人議員／副委員長・今浩一議員）を設置し、3月9日・10日の2日間にわたり詳細に審議しました。
数多くの質疑がありましたが、その一部を紹介します。
※平成27年度各会計予算の詳細については、広報いたやなぎ4月号に掲載されています。



委員長：葛西清人議員

■質問 北畠弘美委員

乳幼児医療費給付金（予算額1900万円）は、就学前の子どもが対象だが、対象を小学生までにすると予算はどのくらいになるか試算したことはあるか。

▼田邊健康福祉課長

試算をしたことはない。

◎要望 北畠弘美委員

子育て支援充実のために、試算をしてみても是非検討してほしい。

■質問 成田肇委員

県民体育大会出場委託料（予算額639万円）とあるが、開催地は。

▼中村生涯学習課長

平成27年度は十和田市を中心に上十三地区で開催される。

■質問 成田肇委員

コンビニ収納システムリース料（予算額87万1千円）とあるが、稼働はいつからか。

▼齋藤税務課長

平成27年度はシステムの準備をし、平成28年度の税から実施を予定している。

■質問 成田肇委員

商業者人材育成事業（予算額40万7千円）の概要について。

▼石澤経済課長

平成26年度からの継続事業で、板柳町の商業関係者を対象に、板柳町と同規模程度の商店街の活性化に取り組んでいる市町村の視察や、セミナーの開催、会議等を予定している。平成26年度は秋田県の五城目町を視察し参加者は5名であった。平成27年度は、商業者に限らず、商店街・まちおこしに興味のある町民の方も対象にと考えている。

■質問 成田肇委員

健康増進事業（予算額3330万円）の事業計画や内容について。

▼田邊健康福祉課長

毎年実施している各種検診の助成、保健師による各家庭の訪問指導の充実などである。

◎要望 成田肇委員

検診や保健師の指導も大事だが、健康維持のためのふれあいの場（60代・70代の軽スポーツ事業など）を検討していただきたい。

■質問 三戸玲子委員

農道舗装工事（予算額1420万円）で、リンゴ園の農道だけでなく水

田の農道舗装もしてほしいが、計画は。

▼館岡町長

これまで財源の関係もあり、計画を組んで優先的にリンゴ園の農道を整備してきた。リンゴ園の農道がある程度目鼻がついたら、水田の農道も計画的に進めていく。

■質問 三戸玲子委員

路線バス運行維持補助金（予算額360万円）があるが、弘南バスは利用者数が少なく、路線維持のためには仕方がないと思うと複雑な心境である。高齢化が進む中、町民の足を確保するためのコミュニティバスの運行が必要と考えるが。

▼館岡町長

今回病院のバスを新しくした。このバスを病院だけでなく町民の皆さんの買い物にも利用できるような計画を進めている。また、バスの利用だけでなく、地域の方が上手く連携しながら買い物をしてお年寄りの方にお届けするといった仕組みなど、庁舎内で行っている研究しているところである。

■質問 三戸玲子委員

ふるさとセンターの子供用遊具設置工事(予算額560万円)によって、遊具が増えると親子連れが喜んで利用してくれると思う。ふるさとセンターでは温室ハウスでのミニトマトの収穫体験をおこなっているが、ミニトマトだけでなく、イチゴ狩りなどハウスをオールシーズン活用してはどうか。また、コテージを町民にもっと利用してもらうために、結婚記念日や誕生日などの特別割引を考慮してはどうか。

▼葛西ふるさとセンター

所長

温室ハウスで3月から6月までミニトマトの収穫体験を実施している。今ハウスの暖房を順次取り替えており、今後はイチゴ狩りもできるよう検討していきたい。コテージは平成23年12月20日から料金が安くなり、稼働率は平成26年度2月末で約39%まで伸びている。今後モチャシ等で周知徹底していく。記念日的な割引については今後検討していきたい。

■質問 佐藤洋治委員

交信攪乱剤購入助成事業費補助金(予算額462万2千円)は、前年より増えているが内訳は。

▼石澤経済課長

先般の議会で佐藤委員からご指摘を受けナシヒメコンについて調べた結果、コンフューザーではナシヒメに対して効果が薄いため、ナシヒメ専用の交信攪乱剤を使用するのが望ましいとのこと、コンフューザーR150ヘクタールにナシヒメコン150ヘクタールをプラスして積算した。需要にあわせて(片方だけ、両方併用)交付する予定である。

■質問 佐藤洋治委員

①県りんご剪定士養成講習事業委託料(予算額32万4千円)②りんご病害虫マスタ―養成事業委託料(予算額24万3千円)は、前年より減っているが内訳は。

▼石澤経済課長

①は第7期生(平成27年度から3年間)3名分、②は1年間の講義で3名分である。②は一昨年あたりから、青森県りんご協

会で派遣人数が指定されてきている状況である。

■質問 佐藤洋治委員

新品種「青天の霹靂」の我が町の作付けは。また、水田農家の所得向上の予算について。

▼石澤経済課長

「青天の霹靂」の作付け申込み状況は、栽培予定者9名、作付面積約14ヘクタールとなっている。また、水田農家対策として「大豆生産組合加入促進補助金(予算額50万円)」、「収入減少影響緩和対策加入費補助金(予算額259万円)」、「農業経営の法人化等支援補助金(予算額120万円)」、「省力化・低コスト化機械購入費補助金(予算額300万円)」を新規に計上している。

■質問 長内良蔵委員

①板柳町生活道路消雪施設設置事業費補助金(予算額10万円)②板柳町排雪活動事業費補助金(予算額30万円)③板柳町除雪サポート活動モデル事業助成金(予算額60万円)の概要について。

▼村上建設課長

①は除雪機械の進入が困

難な生活道路において消雪施設(井戸・ポンプ・配管等)を共同で設置する場合に、経費の2分の1(上限10万円)を補助するものである。②は冬期間の地域生活環境保持のため自主的かつ積極的に排雪を行う町内会に対し町内会が手配する運搬車両の借り上げ費用について、経費の2分の1(上限30万円)を補助するものである。③は冬期間の生活道路の向上を図るため、町内会や小中学校PTAによる除雪機を使用した除雪活動の除雪費、燃料費相当額を助成するものである。

■質問 長内良蔵委員

ここ数年アライグマの被害が多くなっているが、対策の強化について。

▼石澤経済課長

平成27年度から町で鳥獣関係の協議会を立ちあげ、計画を立て国の交付金を活用してアライグマ用の箱わなを増設する予定である。

■質問 今浩一委員

クラフト小径サポート委員会交付金(予算額1

22万円)は3年目になるが、前年より予算額が増えている理由は。

▼石澤経済課長

仮設トイレの増設と、バスの利用料が高くなっていることである。また、参加者の便宜を図るためバスの運行回数を増やす予定としている。

■質問 今浩一委員

りんごの里PRポスターデザイン制作委託料(予算額60万円)の概要について。

▼石澤経済課長

現在町そのものをPRするポスターは高見盛関のポスターだけである。高見盛関も引退し、北海道新幹線開業に伴い青森県・函館ステーション・シオンキャンペーンなど、町をPRする機会が増えてくるので新規に制作するものである。

■質問 今浩一委員

町ホームページ改修委託料(予算額30万円)の概要について。

▼對馬総務課長補佐

携帯電話、スマートフォンから、町のホームページに添付されているファイルを閲覧可能にするものである。

一目でわかる審議結果

第13回定例会
3月提出議案

○賛否の分かれた議案

議案	今 浩一	長 内 良蔵	葛 西 清人	田 中 達男	佐 藤 洋治	成 田 肇	三 戸 玲子	北 畠 弘美	安 田 久五郎	結 果
平成27年度板柳町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	賛成8人 可決

※○は賛成、×は反対。議長は賛否に加わらない。

○全会一致の議案

議案	結果
専決処分（平成26年度一般会計補正予算）の承認	可決
青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更	可決
町道の路線廃止	可決
町道の路線認定	可決
板柳町職員の自己啓発等休業に関する条例の制定	可決
板柳町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定	可決
板柳町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定	可決
板柳町教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定	可決
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決
板柳町行政手続条例の一部改正	可決
板柳町職員の給与に関する条例等の一部改正	可決
板柳町手数料徴収条例の一部改正	可決
板柳町介護保険条例の一部改正	可決

議案	結果
板柳町ひとり親家庭等医療費給付条例及び板柳町営住宅管理条例の一部改正	可決
板柳町道路占用料徴収条例の一部改正	可決
板柳町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	可決
板柳町保育の実施に関する条例の廃止	可決
板柳町報酬及び費用弁償条例の一部改正	可決
平成26年度補正予算（板柳町一般会計ほか7件）	可決
平成26年度板柳町一般会計補正予算（追加議案）	可決
平成27年度板柳町国民健康保険事業特別会計予算	可決
平成27年度板柳町後期高齢者医療特別会計予算	可決
平成27年度板柳町介護保険特別会計予算	可決
平成27年度板柳町農業集落排水事業特別会計予算	可決
平成27年度国民健康保険板柳中央病院事業会計予算	可決
平成27年度板柳町水道事業会計予算	可決
平成27年度板柳町公共下水道事業会計予算	可決
板柳町議会委員会条例の一部改正（議員提出の議案）	可決

陳情	農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する陳情	不採択
----	-----------------------------------	-----

議会を傍聴しませんか 次の定例会は6月です。

＜議会日程のお知らせ（予定）＞

月日	内容	
6月5日(金)	本会議	特別委員会報告、提案理由の説明・報告
6月10日(水)	本会議	一般質問
6月11日(木)	常任委員会	総務産業厚生・福祉建設文教
6月12日(金)	本会議	諸般の報告、質疑・討論・採決



※3月定例会予算特別委員会に、栄町寿栄会の10名のみなさんが傍聴しました。

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。本会議は10時に開会します。なお、傍聴できる人数は51人となっております。

査 審 会 員 委 任 常

総務産業厚生

議案審議の主なもの

■農地集積

Q 農地中間管理機構関係の交付金が減額補正されている内容について。

A 3種類の交付金があるが、地域集積協力金0件、経営転換協力金14件分(5反歩未満4件、5反歩以上2町歩未満9件、2町歩以上1件)、耕作集積協力金1件分である。

Q 以前話になった石野地区水田の集積状況は。

A 経済課で現場を確認したが、区画整理されてなく大変な状況である。このままだと受け手(借り手)がなく集積は困難であると思われる。

Q 区画整理されていない水田でも農地中間管理機構で受け付けるのか。

A 受け手がはっきり決まっていないと受け付けていない状況である。

■板柳中央病院

Q 入院患者増で医業収益が増えているが、外科が充実すればもつと収益が増えると思うが状況は。

A 外科の外来診察日が週5日から週3日となったため、外来患者は約40%(1400人位)ほど減ったが、外科の手術後等で回復期にある患者を、現在、内科医が診療されている状況のため入院患者は逆に増加し収益も増えている。また、健診を担当している外科の常勤医が不在となったことにより、健診の受入数は下がっている状況である。平成26年度以降、救急車の搬送台数が50%増となり医師に大きな負担がかかっている現状により、県内自治体病院の宿日直料を調査したところ当町の宿日直手当が低かったため、医師確保対策として今回改正をお願いしている。



陳情

総務産業厚生常任委員会に付託された「農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する陳情」について、審議の結果、不採択。

福祉建設文教

議案審議の主なもの

■除雪費

Q 専決処分で除雪費を増額補正したが、その後雪が降っていないが状況は。

A 現在、農道除雪をやっている。2月末現在の予算執行率は86%で500万円ほどの予算残額となっている。農道除雪の進捗率は79%で来週完了予定で進めている。

■開発許可

Q これまで県で行っていた開発許可事務が平成27年4月1日から町へ権限移譲されるが、審査基準は同じなのか。

A 審査基準は同じである。開発面積が3千平方メートルを越えるると許可が必要となる。

■ごみ分別収集

Q ごみ分別収集の種類追加について。

A 青森県はごみの排出量が多くリサイクル率も低い。この状況脱却のため、県では「ごみ排出量の削減・リサイクル率の向上」を掲げ、平成27年4月よりリサイクル率25%以上を目指して様々な政策を強化していくこととしている。これに伴い、町でも「その他紙」「新聞」「雑誌」の分別収集を追加し、ごみの減量化・リサイクル率の向上に努めたいと考えている。実施は平成27年6月からの予定だが、各小学校PTA事業でおこなっている廃品回収もあるので、そちらに協力するよう呼びかけをする。

◎ごみ排出量 (1日1人当たり)	
全国平均	963g
青森県	1,069g
板柳町	826g
◎リサイクル率	
全国平均	20.4%
青森県	14.2%
板柳町	12.3%
(平成24年度実績)	

■地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正

Q どのような概要か。

A 平成27年4月1日施行で、主なものは次の4つである。

①教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置。

※新「教育長」は首長が任命(議会の同意)、任期は3年。ただし、平成27年4月1日に在任中の教育長については、その任期が満了するまで、又は自ら退任するまでは旧制度の教育長として在職し、徐々に新制度に移行。

②教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化。

③すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置。

※「総合教育会議」は首長が招集。構成員は首長と教育委員会。

④教育に関する「大綱」を首長が策定。

※「大綱」とは、教育の目標や施策の根本的な方針。

議会の動き (1月～3月)

開催日	会議等名	出席議員
【1月】		
1月 8日	町例月出納検査(監査)	安田(久)議員
1月14日	西北津軽郡町議会議長会議長・事務局長会議	安田議長
1月15日	議会運営委員会(2・3月会議日程等)	北島委員長、委員
1月16日	町議会だより編集特別委員会	葛西委員長、委員
1月26日	町議会だより編集特別委員会	葛西委員長、委員
1月28日	板柳町産業振興公社りんごワーク研究所理事会	議長、長内委員長
【2月】		
2月 2日	町議会だより編集特別委員会	葛西委員長、委員
2月 3日	総務産業厚生常任委員会	長内委員長、委員
2月 6日	町例月出納検査(監査)	安田(久)議員
2月16日	青森県町村議会議長会定期総会	安田議長、副議長、議員
2月17日	福祉建設文教常任委員会協議会	佐藤委員長、委員
〃	議員全員協議会(町諸案件等)	安田議長、議員
2月19日	国民健康保険運営協議会	議員
2月21日	青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会	安田議長
2月23日	議員全員協議会及び議案説明会(町諸案件等)	安田議長、議員
2月24日	弘前地区環境整備事務組合議会定例会	成田副議長
〃	津軽広域連合議会定例会	長内委員長
〃	弘前地区消防事務組合議会定例会	今議員
2月25日	西北五広域福祉事務組合議会定例会	三戸議員
2月26日	議会運営委員会(定例会案件)	北島委員長、委員
【3月】		
3月 2日	本会議(定例会日程、町長の提案理由等)	安田議長、議員
3月 4日	町例月出納検査(監査)	安田(久)議員
〃	議員全員協議会(定例会議案等に係る現地調査)	安田議長、議員
3月 5日	本会議(一般質問・3人)	安田議長、議員
3月 6日	総務産業厚生常任委員会(所管事務調査)	長内委員長、委員
〃	福祉建設文教常任委員会(所管事務調査)	佐藤委員長、委員
3月 9日	予算特別委員会(新年度予算審議)	葛西委員長、委員
3月10日	議会運営委員会(定例会追加案件)	北島委員長、委員
〃	議員全員協議会(定例会追加案件等)	安田議長、議員
〃	予算特別委員会(新年度予算審議)	今副委員長、委員
3月11日	本会議(委員長報告、採決、閉会)	安田議長、議員
3月24日	弘前地区消防事務組合議会臨時会	今議員
3月25日	板柳町産業振興公社りんごワーク研究所理事会	長内委員長
3月27日	町議会だより編集特別委員会	葛西委員長、委員

視察等リポート

【第3班】

期間 平成27年3月20日(金)
3月24日(火)

●参加議員 安田久五郎議員、
三戸玲子議員、佐藤洋治議員、
長内良蔵議員

●視察先等

地方では特に若者や女性の都市部への流出は深刻で、歯止めをかけることが喫緊の課題であります。今後は地域経済を自立させ、地方が成長する活力を取り戻すことが重要になることから、目覚ましい発展をあげているアジア地域の中で、世界的なビジネス中心地であるシンガポール共和国へ視察を行いました。美しい町並みと緑の豊かさは「ガーデン・シティ」と呼ばれており、将来の町づくりに大変参考になりました。そして、ここには当町のりんごワーク商品が販売されている「伊勢丹百貨店スコッツ」があり、販売状況を視察しましたが、グローバル化の中で、日本の地方の小さな町で製造された商品が販売され、そしてお客様にご愛顧いただいていることに改めて誇りをもちました。「百年は一見にしかず」今回、先駆的な事例視察をすることで、今まで町議員として気づいていなかった側面から物事をみることで、今後の議員活動にも、そして、これから議会でも審議される施策についても、しっかりと生かしていきたいと考えております。

おらほの議員

議員永年 勤続表彰

北畠弘美議員

青森県 町村議会 議長会より、
議会議員19年以上の
地方自治への貢献による表彰

三戸玲子議員、成田肇議員、 佐藤洋治議員、館岡精一議員

全国 町村議会 議長会より、
議会議員15年以上の
地方自治への貢献による表彰

田中達男議員、葛西清人議員

青森県 町村議会 議長会より、
議会議員11年以上の
地方自治への貢献による表彰

★★★ 新しい議員を紹介します ★★★

去る4月26日(日)に投票が行われた板柳町議会議員補欠選挙(欠員2)で、
2人(元議員1・新人議員1)が当選されました。



かさい ゆきお
葛西 幸男(いたや町)



なりた ようこう
成田 陽光(牡丹森)

視察等レポート

【第4班】

●期間 平成27年3月22日(日)
～3月28日(土)

●参加議員 安田弘議長

●視察先等

名古屋市中区は、リニア中央新幹線2027年の先行開業を目指している名古屋駅周辺の開発状況を視察しました。ビル群が林立する中で、古いビルを解体しながら最先端技術を駆使して開発が進む状況は圧巻であります。リニア中央新幹線で首都圏からの人口を流動化させることが目的で、何か地方創生のヒントがあるような気がしました。また、当町のりんごワイク商品が販売されている「松坂屋名古屋店」で販売状況を視察しましたが、中京圏においても当町の特産品が販売され人気も高いことに感心させられました。奈良市では、神社や仏閣など古いものを大切にするまちづくりを視察しました。目的は、「観光振興」、奈良市は観光政策を非常に重視し、どうしたら多くの観光客に満足していただくかなど、参考例がたくさんありました。「故きを温ねて新しきを知る」地方創生のアイデアを求め奈良市を訪れましたが、今回そのヒントがうっすらと見えたような気がしました。東京都では、地元選出国會議員津島淳代議士に直接面談して、豪雪地帯板柳町への来年度以降の町道除雪費や防雪柵の補助などの要望を行いました。

編集後記

館岡町長が勇退を表明されました。この3月定例会が私から町長に対し、最後の一般質問となりました。

町長と私は行政と議会、立場は違いますが、同じ頃に政治の道に入り、共にこの板柳町を愛し、そして町を発展させたい思いは同じであります。

また、責任感が強い方であることは言うまでもありませんが、今後は健康に留意され、一町民として、温厚な気持ちで過ごされますことを希望し、ご苦勞様と敬意を表します。

16年間、本当にお疲れ様でした。

(委員 三戸 玲子)

【発行責任者】

議長 安田 弘

※第6号発行予定は8月14日頃です。

議会だよりへのご意見・感想をお聞かせください。

【訂正】議会だより第4号に次のとおり誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

5ページ、■板柳中学校耐力調査業務委託料の答弁中「5000点以下」を、「4500点以下」に訂正。